

県内の少年非行(令和2年3月末)

兵庫県警察本部少年課

注:数値は暫定値である。

1 県内の非行少年等の概況

令和2年3月末、県内で検挙・補導した非行少年(犯罪少年、触法少年及びぐ犯少年の総称)は412人で前年同期(490人)に比べて78人(15.9パーセント)減少、不良行為少年は3,064人で、前年同期(2,891人)に比べて173人(6.0パーセント)増加している。

区分		年別	令和2年	平成31年	増減	
			3月末	3月末	人員	率(%)
非 行 少 年	刑 法 犯	犯罪少年	241	265	-24	-9.1
		触法少年	90	118	-28	-23.7
		計	331	383	-52	-13.6
	特 別 法 犯	犯罪少年	51	46	5	10.9
		触法少年	6	13	-7	-53.8
		計	57	59	-2	-3.4
		ぐ犯少年	24	48	-24	-50.0
合計	412	490	-78	-15.9		
不良行為少年			3,064	2,891	173	6.0

2 刑法犯少年包括罪種別の状況

区分	年別	令和2年3月末		平成31年3月末		増減	
		人員	構成比(%)	人員	構成比(%)	人員	率(%)
刑法犯少年		331	100	383	100	-52	-13.6
凶悪犯		11	3.3	1	0.3	10	1,000.0
粗暴犯		83	25.1	79	20.6	4	5.1
窃盗犯		164	49.5	231	60.3	-67	-29.0
知能犯		8	2.4	3	0.8	5	166.7
風俗犯		10	3.0	5	1.3	5	100.0
その他		55	16.6	64	16.7	-9	-14.1
うち占離		27	8.2	33	8.6	-6	-18.2

3 刑法犯少年学職別の状況

区分	年別	令和2年3月末		平成31年3月末		増減	
		人員	構成比(%)	人員	構成比(%)	人員	率(%)
総数		331	100	383	100	-52	-13.6
未就学		1	0.3			1	
小学生		50	15.1	64	16.7	-14	-21.9
中学生		95	28.7	120	31.3	-25	-20.8
高校生		101	30.5	128	33.4	-27	-21.1
その他学生		25	7.6	12	3.1	13	108.3
有職		45	13.6	40	10.4	5	12.5
無職		14	4.2	19	5.0	-5	-26.3

4 初発型非行の状況

区分	年別	令和2年3月末		平成31年3月末		増減	
		人員	構成比(%)	人員	構成比(%)	人員	率(%)
総数		154	100	218	100	-64	-29.4
万引き		90	58.4	122	56.0	-32	-26.2
オートバイ盗		9	5.8	17	7.8	-8	-47.1
自転車盗		28	18.2	46	21.1	-18	-39.1
占有離脱物横領		27	17.5	33	15.1	-6	-18.2
刑法犯少年に占める率(%)		46.5	—	56.9	—	-10.4	ポイント

※ 少年非行のその他の特徴

- 全刑法犯検挙・補導人員の12.5パーセント(前年同期比-1.1ポイント)を少年が占めている。
- 刑法犯少年のうち窃盗犯が最も多く、全体の49.5パーセントを占め、次いで粗暴犯の25.1パーセントとなっている。
- 不良行為少年では、喫煙(1,958人)と深夜はいかい(772人)が全体の89.1パーセントを占めている。